

6 調査・観測

①地表変動調査

項目	数量	調査期間
地盤伸縮計	6箇所	H29.5.23～
移動杭	9箇所	H29.5.27～7.23
GPS	3箇所	H29.7.2～12.1

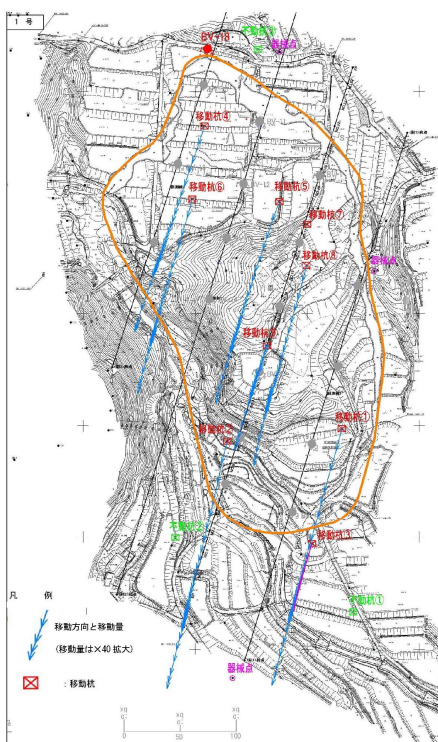
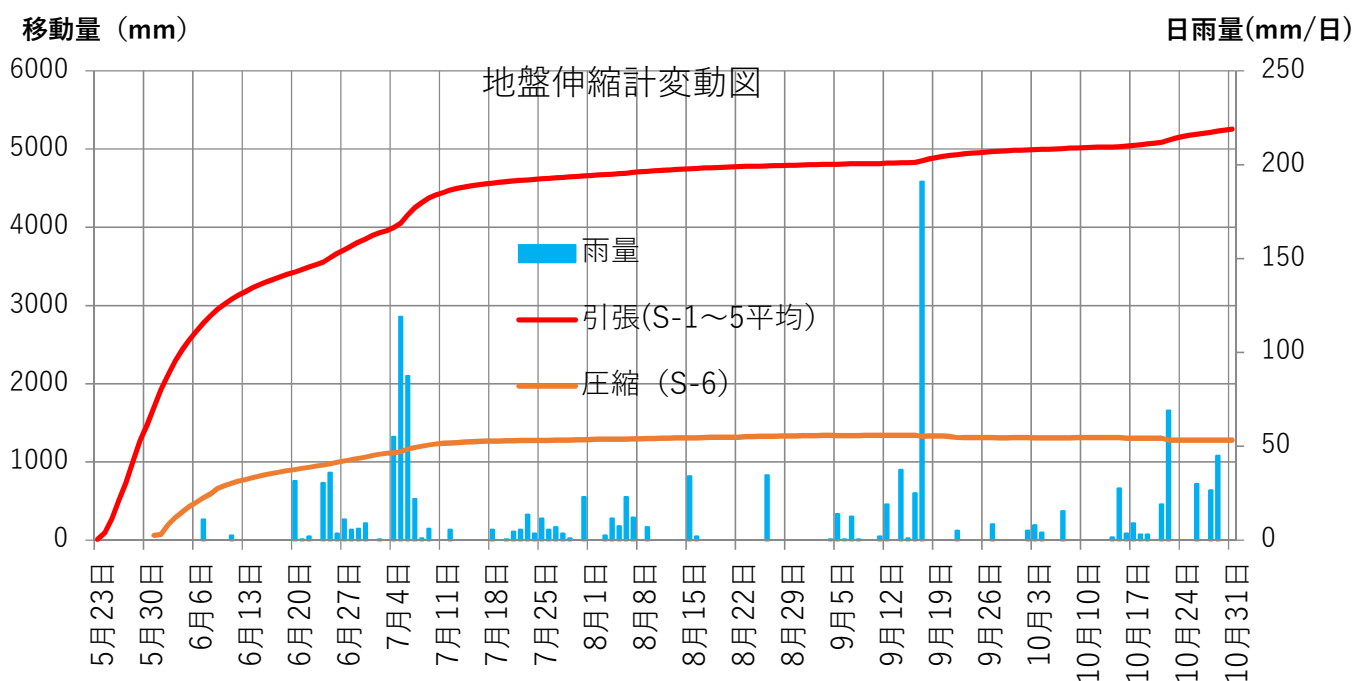


図 5.1.7 移動杭移動方向平面図

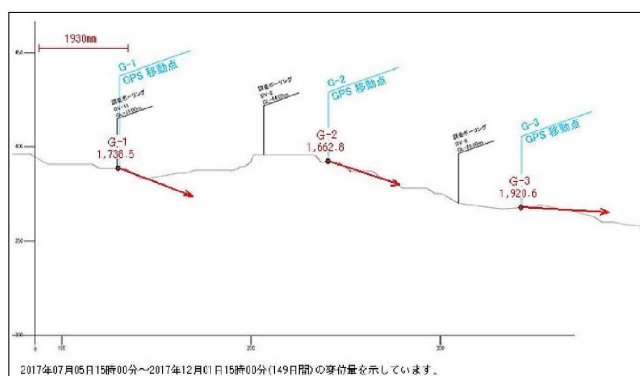
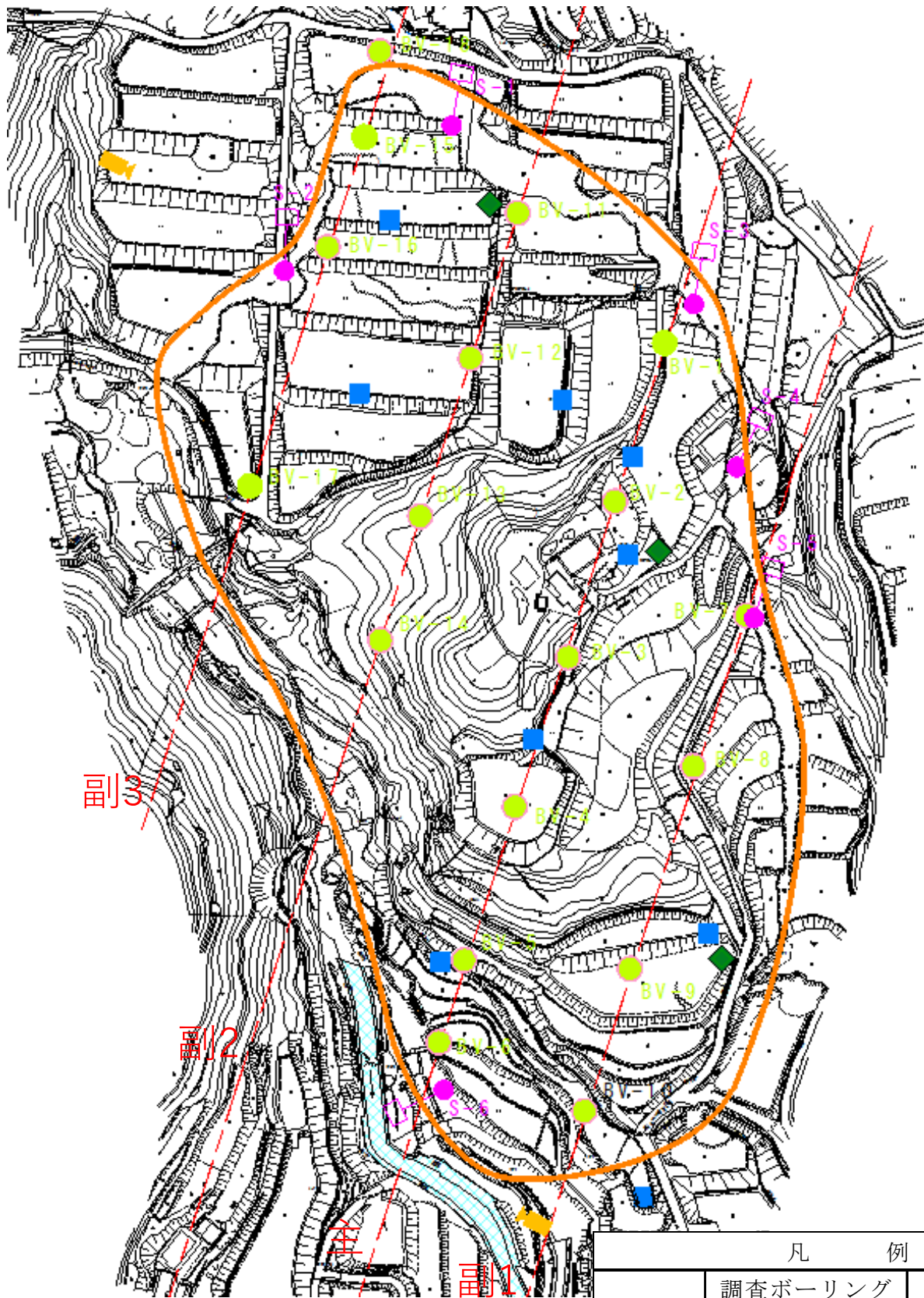


図 5.1.12 GPS 移動ベクトル断面図

②調査ボーリング・すべり面調査・地下水調査

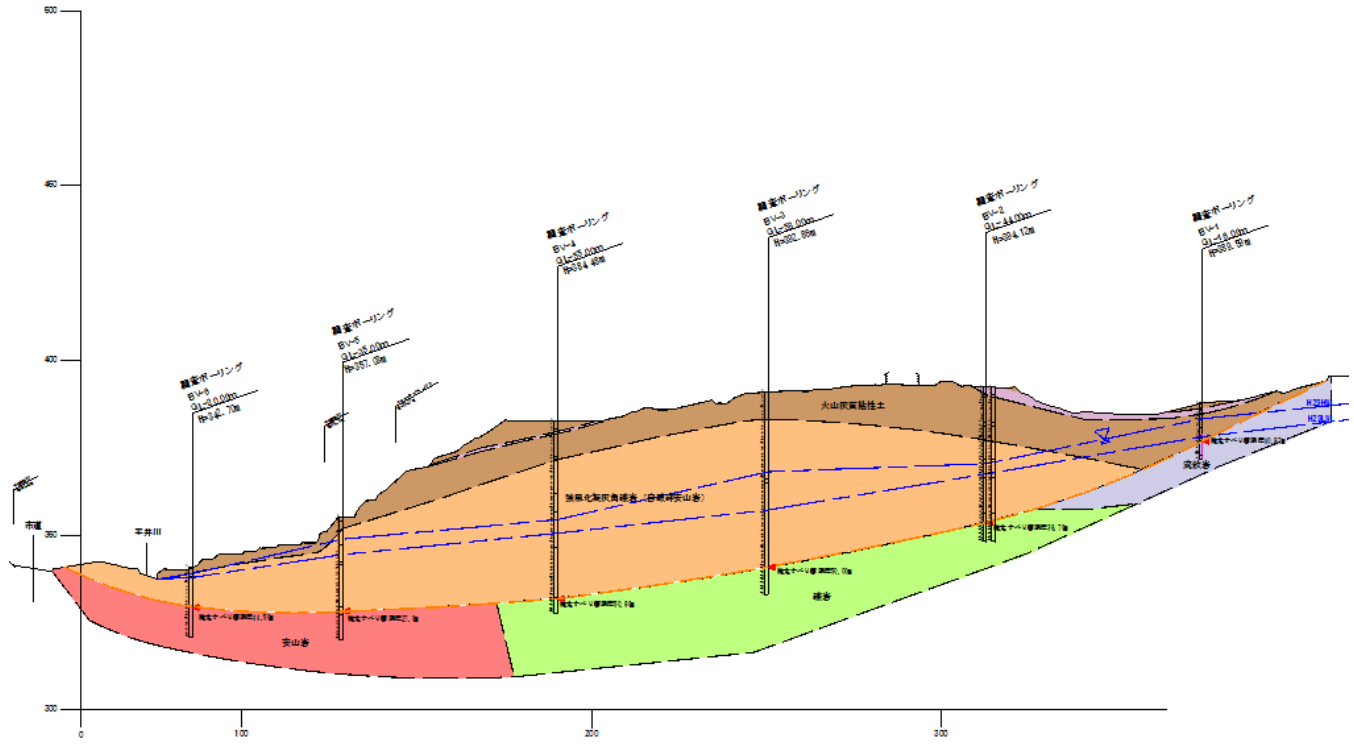
測線	No	掘削長 (m)	掘削機関	すべり面 GL-(m)	最高 水位 GL-(m)	最低 水位 GL-(m)	地下水 検層
主測線	BV-1	16.0	6/5～6/20	10.87	4.46	9.61	
	BV-2	44.0	6/17～6/24	38.87	21.96	24.63	○
	BV-3	58.0	6/26～7/19	50.25	22.80	33.84	○
	BV-4	55.0	6/15～7/1	50.80	28.30	32.14	○
	BV-5	35.0	6/15～6/26	25.70	6.35	10.77	○
	BV-6	20.0	6/22～7/15	10.80	1.86	3.02	○
副測線 1	BV-7	15.0	6/21～6/24	7.60	0.67	5.00	○
	BV-8	26.0	6/15～6/22	21.40	5.05	14.64	○
	BV-9	27.0	6/15～6/20	17.80	11.29	25.58	
	BV-10	15.0	6/15～6/20	11.10	-0.43	5.33	○
副測線 2	BV-11	19.0	6/21～6/28	7.40	11.95	20.12	○
	BV-12	19.0	6/22～6/26	13.55	18.49	26.99	○
	BV-13	44.3	6/24～7/15	36.90	11.95	20.12	○
	BV-14	57.0	6/24～7/20	53.60	18.49	26.99	○
副測線 3	BV-15	23.0	6/15～6/20	8.60	6.89	11.94	
	BV-16	20.0	6/18～6/28	12.75	6.52	13.63	○
	BV-17	30.0	6/20～7/11	25.70	8.09	10.85	
ブロック 外	BV-18	25.0	6/1～6/5	—	2.69	12.76	○



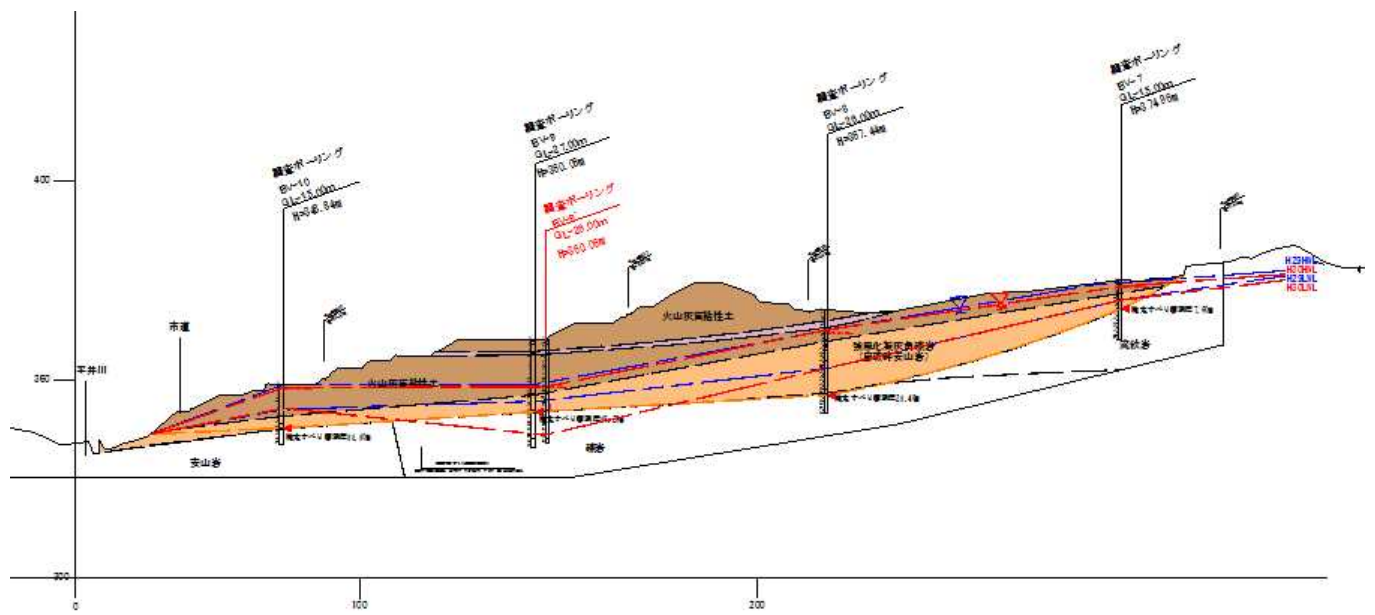
調査・観測機器配置平面図

凡 例		
●	調査ボーリング	18孔
	ひずみ計 水位計	
○	地下水検層	14孔
■	移動杭	9箇所
◆	GPS	3箇所
□-●	地盤伸縮計	6基
📷	監視カメラ	3箇所

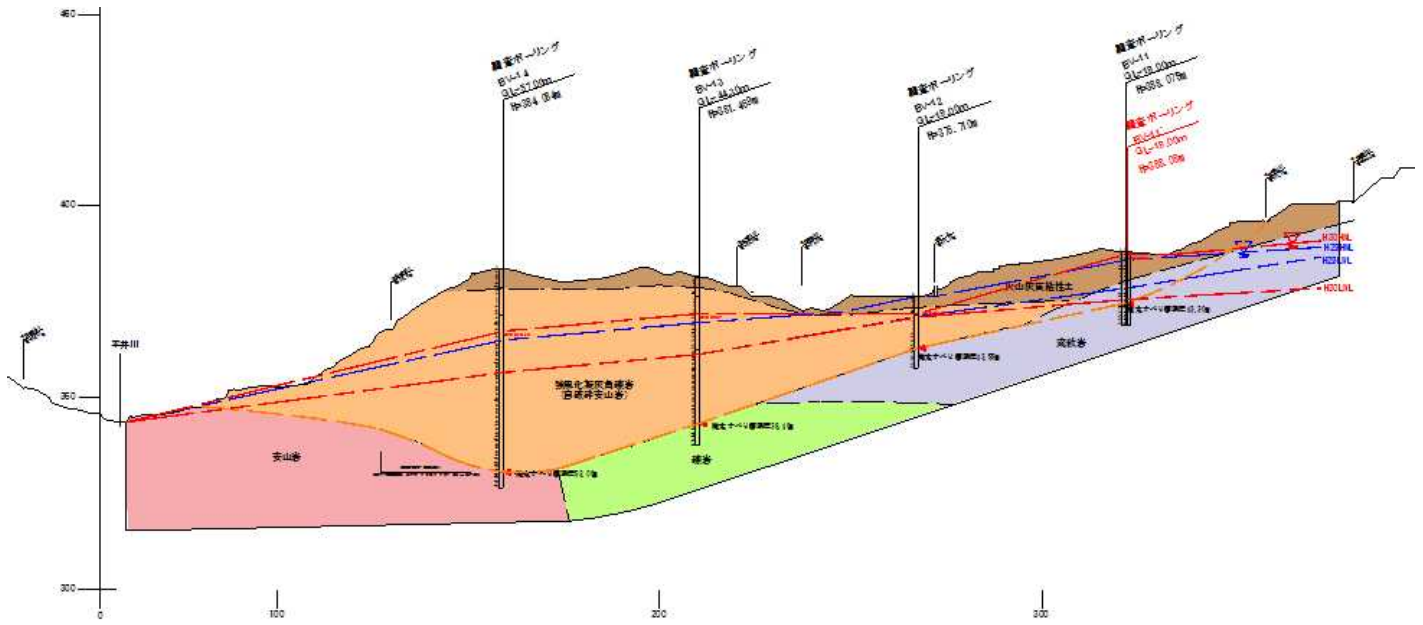
主測線断面図



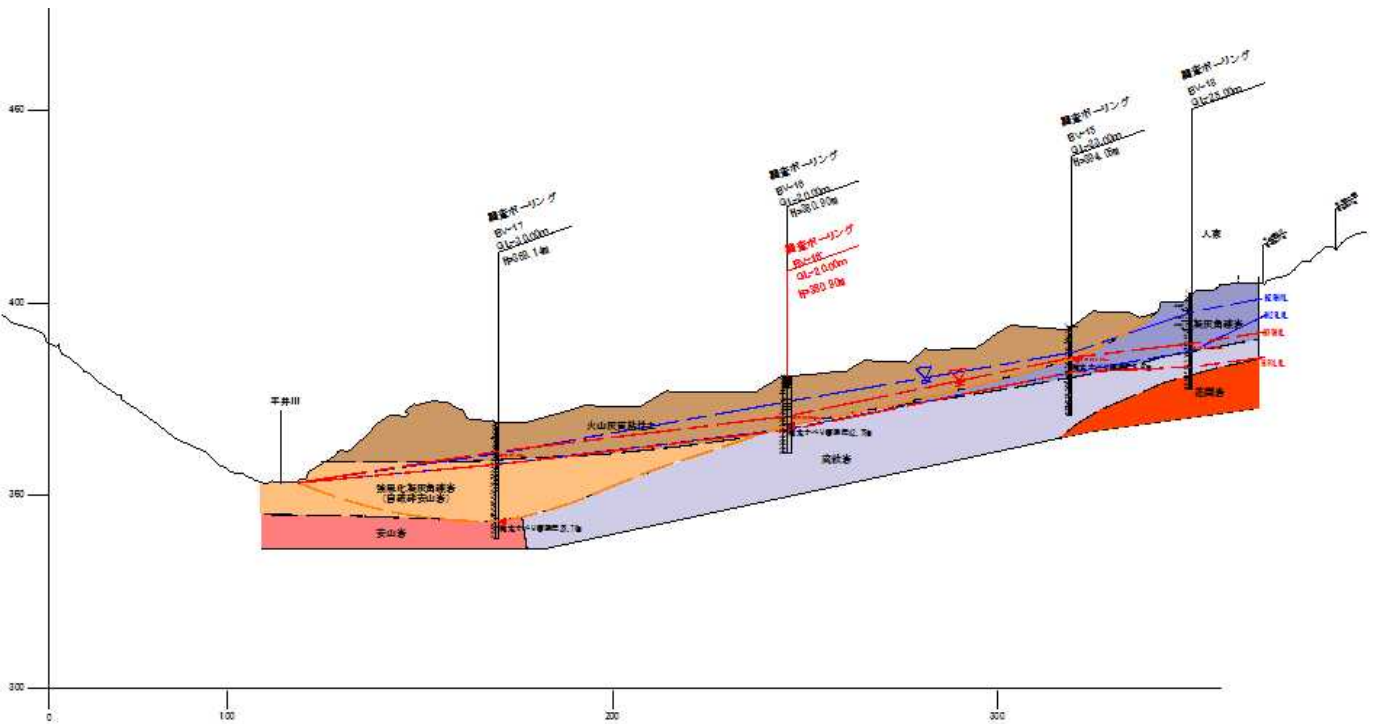
副測線1断面図



副測線2断面図



副測線3断面図



(2) 素因と誘因

1) 素因

- 地質が強風化角礫凝灰岩と基盤岩との境界部に上位の粘土、シルト層を挟んでおりすべり面が形成されていた可能性が考えられる。
- 周辺の地形から過去大きな地盤活動(地すべり等)があったことが伺える。
- 後背斜面からの豊富な地下水の供給がある。
- 過去(昭和39年6月)にも当地すべりの下部で地すべりが発生した履歴がある。

2) 誘因

- 1週間前(5/12~13)の連続雨量(連続雨量103 mm、最大24時間雨量103 mm、最大時間雨量20 mm)

